

小金井市の市立小中学校 耐震診断・耐震補強工事計画

学校名	耐震診断		耐震補強工事		生徒数 4月7日現在
	実施済み	予定	実施済み	予定	
第一小学校	2001年		一部2003年	2005年	682
第二小学校	2003年			2005年 2006年	426
第三小学校	2004年			2006年	767
第四小学校	2004年			2006年	527
東小学校		2006年		2008年	575
前原小学校	2000年		2002年		549
本町小学校	2000年		2003年		366
緑小学校	2003年			2005年 2006年	653
南小学校		2007年		2008年	470
第一中学校		2005年		2007年	395
第二中学校	1996年		1997年～1999年		413
東中学校		2006年		2008年	275
緑中学校	1999年		2000年～2002年		581
南中学校		2005年		2007年	355
■ 耐震診断、耐震補強工事は 1981年以前に建てられた施設が対象になる					合計 7,034

【解説】

1981年に建築基準法が改定され、それ以前に建てられた建物は、新しく制定された耐震基準に合致するかどうかの調査が必要になりました。そのため国は、1981年(昭和56年)以前に建てられた公共施設の耐震診断を各自治体に命じ、建物構造が新しい耐震基準に合わないとは判断された場合は、耐震補強工事を行なうよう指導しています。

小金井市は、1996年の第二中学校を皮切りに、小中学校の耐震診断をスタート。耐震診断の翌年には耐震補強工事を開始するようになっています。しかし、すべての小中学校の耐震補強工事が完了するのは、3年後の2008年度。「お金がないから一度にできない」がその理由。その小金井が今年度、武蔵小金井駅南口再開発事業に17億5,320万円もの財源を投入し、「お金がない」ために、そのうちの98%を借金するとしています。小中学校の耐震補強工事は1校あたり2億円前後。いつ大地震がきてもおかしくないと言われる昨今、駅前の大型開発よりも、子どもたちの安全確保を最優先すべきと考えるのが当然ではないでしょうか。

小金井市は今年度、くりのみ保育園の耐震診断を予算化。2月議会での日本共産党の質問に対して小金井市は、「市立保育園の耐震診断を順次行ない、耐震補強工事も行なっていく」と答弁。学童保育施設の耐震診断も今後、行なっていく予定です。 [2005年4月27日]

その他の耐震診断・耐震補強工事が未実施の市の施設 耐震診断の結果によっては耐震補強工事が必要になる

施設名	建築年度
文化財センター	1930年～31年
市役所西庁舎	1958年
公会堂	1963年
市役所本庁舎	1965年
災害対策用資機材置場等防災関係施設	1966年
婦人会館・梶野町防災倉庫	1966年
福社会館	1967年
くりのみ保育園	1968年、90年
わかたけ保育園	1969年
本町防災倉庫	1969年、72年
小金井市文書倉庫	1972年
公民館本町分館	1972年
貫井南センター	1972年
貫井北町集会所	1972年
さくら保育園	1972年
みなみ学童保育所	1973年
けやき保育園	1974年
図書館本館	1975年
市役所貫井北町分室	1975年
ピノキオ幼稚園	1976年
消防団第五分団詰所	1976年
さくらなみ学童保育所	1976年、80年
市役所本町暫定庁舎	1978年
市役所前原分室	1979年
あかね学童保育所	1979年
消防団第四分団詰所・前原町防災倉庫	1981年